

南アメリカ・オセアニア
州

名前

- 問1 カナダ、チリ、オーストラリア、フィリピン、韓国のすべてが加盟しており、環太平洋地域の経済的な協力を目的として活動している枠組みの略称として適切なものはどれか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. ASEAN 2. APEC 3. TPP 4. EU
- 問2 ブラジルでは、さとうきびやとうもろこしといった植物を原料とするエネルギー資源の生産が盛んです。これらは石油に代わる自動車などの燃料として活用されていますが、このような燃料の名称を答えなさい。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 天然ガス 2. シェールガス 3. バイオ燃料 4. 化石燃料
- 問3 オーストラリアは公用語として英語が使用され、議会政治の仕組みやスポーツなどの文化面においても特定の国の影響を強く受けています。この背景にある歴史的な事実として最も適切なものはどれですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. かつてイギリスの植民地であり、開拓や制度構築がその主導で行われたため 2. かつてフランスの植民地であり、ナポレオン法典に基づいた統治が行われたため 3. かつてオランダの自治領として、中継貿易の拠点として発展したため 4. かつてアメリカ合衆国の保護国として、北米の社会システムが導入されたため
- 問4 ブラジルでは、さとうきびを原料としたバイオエタノール（バイオ燃料）が自動車用燃料として広く普及しています。この燃料が、化石燃料と比べて地球温暖化の防止に役立つとされる理由として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 埼玉県公立入試 類似)
1. 燃焼させた際に二酸化炭素を全く排出せず、水蒸気のみを排出するクリーンなエネルギーであるから 2. 地下から採掘する資源ではないため、燃焼時に発生する有害なガスの量が化石燃料の半分以上に抑えられるから 3. 原料となる植物が成長過程で光合成を行い、大気中の二酸化炭素を吸収するため、燃焼しても全体での排出量が増えないとされるから 4. さとうきびから作られるアルコールには、大気中の二酸化炭素を分解して酸素に変える特殊な成分が含まれているから
- 問5 南アメリカのアルゼンチン共和国において、東部の沿岸から内陸にかけて広がる「パンパ」と呼ばれる地域の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 新潟県公立入試 類似)
1. 広大な平坦地と肥沃な土壌を利用し、小麦の輸出や冷凍肉の生産が盛んである。 2. アンデス山脈のふもとに位置し、冷涼な気候を利用したジャガイモ栽培が行われている。 3. 乾燥した高緯度地域に位置し、主に羊の毛を目的とした小規模な牧畜が行われている。 4. アマゾン川流域に位置する密林地帯で、焼畑農業による自給的な生活が中心である。
- 問6 オーストラリアにおける、外国生まれの人の出身国に関する1960年代から2010年代にかけての統計的な変化について、正しい記述はどれですか。 (2021年 岩手県公立入試 類似)
1. 2016年の統計では、イギリスに代わってイタリアやギリシャといったヨーロッパ諸国からの移民が急増し、上位を独占している。 2. 1966年から2016年にかけて、イギリス出身者の割合は一貫して増加し続けており、現在も移民の過半数を占めている。 3. 1960年代の時点で、すでに中国やインドからの移民がイギリス出身者よりも多い状況となっていた。 4. 1966年にはイギリス出身者が4割を超えていたが、2016年には中国やインド、フィリピンといったアジア諸国が上位に進出している。
- 問7 オセアニア州に位置するニュージーランドにおいて、ヨーロッパの人々が入植する以前からこの地に居住し、現在も独自の言語や「ハカ」などの伝統文化を継承している先住民族を何と呼びますか。 (2025年 和歌山県公立入試 類似)
1. ヒスパニック 2. アボリジニ 3. イヌイット 4. マオリ
- 問8 南アメリカのブラジルでは、ある農作物を原料としたバイオ燃料の普及が世界的に見ても進んでいます。この農作物と、その普及の背景にある目的について述べたものとして、最も適切な記述を選びなさい。 (2021年 奈良県公立入試 類似)
1. 小麦を原料とし、食料自給率の向上と同時にバイオ燃料としての輸出を拡大させている。 2. 米を原料とし、化学燃料の価格高騰に対応するための安価なエネルギー源として普及している。 3. さとうきびを原料とし、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を抑制する目的で利用されている。 4. カカオ豆を原料とし、アマゾンの森林破壊を防ぐための代替エネルギーとして開発が進められている。
- 問9 南アメリカ大陸の国々の多くは、かつてスペインの植民地であった歴史からスペイン語を公用語としていますが、ブラジルは異なる歴史的背景を持っています。ブラジルの歴史と、現在の産業や自然環境について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2018年 高知県公立入試 類似)
1. かつてイギリスの植民地であったため英語を公用語としており、アンデス山脈の標高の高い地域でアルパカを飼育している。 2. かつてオランダの植民地であったためオランダ語を公用語としており、コーヒーの生産量は世界で最も少ない。 3. かつてポルトガルの植民地であったためポルトガル語を公用語としており、アマゾン川流域に広大な熱帯林を有している。 4. かつてフランスの植民地であったためフランス語を公用語としており、パンパと呼ばれる広大な草原で小麦を栽培している。
- 問10 主要国のエネルギー消費量と二酸化炭素排出量の関係について、ブラジルはオーストラリアと比較すると、エネルギー消費量が多いものの、二酸化炭素排出量の増加は相対的に抑えられているという特徴があります。このようなエネルギー構造になっている背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)
1. シェールガスの採掘技術が発達し、二酸化炭素を排出しない天然ガスの利用が国内で完結している。 2. さとうきびを原料としたバイオ燃料の普及や、水力発電の割合が高いことが影響している。 3. 安価な石炭を主なエネルギー源として利用し、火力発電を電力供給の中心にしている。 4. 二酸化炭素の排出を抑えるため、国内の全エネルギー消費を風力と太陽光のみでまかなっている。
- 問11 ニュージーランドの産業構造と輸出の特色について、その背景や現状を説明したものとして正しいものを選びなさい。 (2024年 兵庫県公立入試 類似)
1. 人口増加に伴う国内消費の拡大に対応するため、輸出中心の牧畜を廃止し、自給用の穀物生産に特化している 2. 近隣諸国との貿易摩擦を避けるため、牧畜から自動車や電子機器を中心とした工業へと完全に移行した 3. 内陸部の乾燥した気候を利用して大規模な灌漑農業を行い、綿花や羊毛のみを輸出するモノカルチャー経済となっている 4. 広大な土地と気候を活かした牧畜を基盤としており、現在も乳製品や肉類といった農業生産品が輸出の過半数を占めている
- 問12 太平洋に点在するフィジーなどの島々や、オーストラリア、ニュージーランドなどは、世界の地域区分において同じグループに分類されます。赤道付近から南半球にかけて広がるこれらの地域を総称して何といいますか。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
1. アフリカ 2. 東南アジア 3. オセアニア 4. 北アメリカ